

2023年3月1日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

ローカル 5G のソフトウェア製品「CYRUS(サイラス)」の提供を開始  
汎用サーバ活用によりコスト低減を実現、企業のローカル 5G 導入を加速

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、ASOCS Ltd.(CEO:ギラド・ガロン、本社:イスラエル、以下:エイソックス社)と販売代理店契約を締結し、ローカル 5G<sup>\*1</sup>の基地局を構築するソフトウェア製品「CYRUS(以下:サイラス)」を本日から提供します。汎用サーバとの組み合わせで基地局を構成し、導入コストの低減が可能となります。価格は、年額 1 千万円(税抜き)からサブスクリプション型で提供します。ローカル 5G サービスを提供する通信事業者やローカル 5G の導入を検討している製造業や建設業へ展開し、3 年間で 30 社 20 億の売上を目指します。

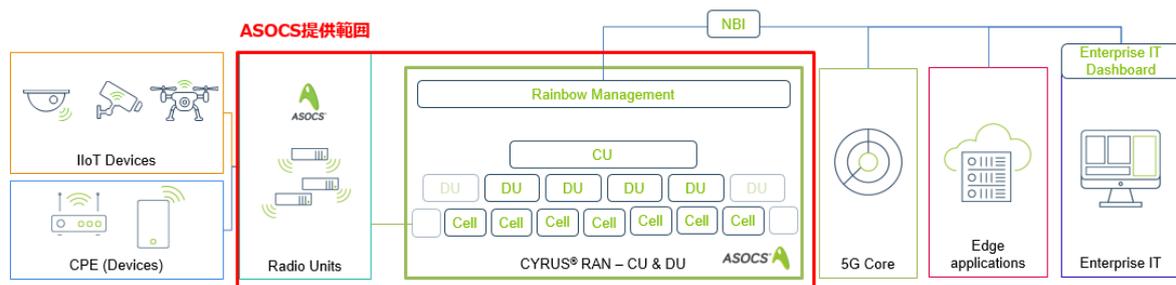
近年、企業や自治体が、独自の 5G 通信基盤であるローカル 5G を導入するケースが増えていきます。一方で、RU(無線装置)、DU(無線信号処理部)、CU(データ処理部)から構成されるローカル 5G の基地局は、同一ベンダーでハードウェアとソフトウェアを揃えなくてはならないケースが多く、機器選定やサイジングの自由度が低いため、導入費や運用費が高額になってしまうことが課題でした。また、電波法に準拠した無線局開設の免許取得や運用におけるノウハウが必要であり、導入のハードルが高いことが課題でした。

今回提供するサイラスは、基地局を構成する DU と CU の機能をもち、汎用サーバで構築された仮想マシン上で動作するソフトウェア製品です。用途に応じて汎用サーバを調達し、ネットワークの規模に合わせて柔軟なサイジングを行うことで、導入コストと運用コストを低減することができます。サイラスのソフトウェアライセンスは利用規模に応じた課金体系となっているため、利用者の増加やエリア拡大に従ってシステムを容易に拡張し、運用コストの最適化を図ることができます。また、サイラスは Open RAN<sup>\*2</sup>に準拠しており、無線アクセスネットワークを担う RAN の仕様が標準化されています。インターフェースが共通化されているため、エイソックス社製品以外の RU との相互接続が可能となり、用途に応じて柔軟な構成を選択することができます。

CTC は、ネットワークの設計、構築、試験、保守なども提供します。基地局の開設段階では、免許申請の書類準備や総務省への報告資料などの作成を支援し、ローカル 5G の円滑な導入を実現します。開設後は、無線の到達範囲や電波強度の測定などを実施し、運用後の構成変更に伴う免許の変更申請にも対応し、総務省が策定しているガイドライン<sup>\*3</sup>に則ったローカル 5G の安定運用を支援します。また、2022 年 1 月に CTC 平和島物流センター(東京都大田区)内にローカル 5G の技術検証が可能な専用スペースを開設しており、商用環境の構築前に複数の構成で検証を行うことも可能です。

CTC は、今後も、Open RAN に準拠したローカル 5G 製品の選択肢を増やし、運用保守や遠隔監視サービスなどを拡充し、ローカル 5G の普及に貢献していきます。

## <サイラス ローカル 5G の機器構成>



- ※1 超高速化、超低遅延、多数同時接続を実現する自社専用の 5G 通信環境のこと。
- ※2 無線基地局の接続仕様を標準化することにより、様々なベンダーの機器やシステムとの相互接続を可能とする RAN (無線アクセスネットワーク) のこと。
- ※3 総務省が策定している「ローカル 5G 導入に関するガイドライン」のこと。
- ※ CYRUS は、ASOCS Ltd. のイスラエルおよびその他の国における登録商標または商標です。
- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: [press@ctc-g.co.jp](mailto:press@ctc-g.co.jp)